

2025 10/25(土)~11/24(月・祝)

【開館時間】 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

【休館日】 月曜日(月曜が祝日の場合は、翌平日)

【入館料】 一般 200円(20名以上の団体料金160円)/高校生以下は無料

※各障がい者手帳ご提示の方は100円

※第3日曜日は家族ミュージアムの日により無料

【主催】 飛騨市教育委員会

飛騨市美術館

京都画壇で学んだ
郷土画家

春玉舎 輝展

Tamaya
Shunki
Exhibition

華麗なる歴史画・山水画の世界



御製を并して左隻(昭和18年)



嵐峽春色(制作年不明)



高麗紅葉・晴嵐(制作年不明)



春玉(大正14年)

玉舎 春輝 Tamaya Shunki

明治13年、旧大野郡清見村下之切町に生まれると翌年、古城郡古川村で陶器業を営む玉舎家の養子に入りました。古川町役場などに勤めた後、明治32年、画家を志し京都に出て円山派の山元春挙に入門、春輝の号を受けます。



昭和10年頃

その後、明治36年京都後素青年会で《月景》が五等賞に入賞、翌年には京都美術協会で《草まくら》が入選、さらに文展で入選、入賞を重ねるなど、若くして京都画壇の中堅画家の地位を確立しました。

大正8年、帝国美術院が設置されると、彼は帝展不出品を表明した有志と「日本自由画壇」を創設、同展に出品を続けます。昭和15年、還暦を機に名古屋美術倶楽部において個展を開催し昭和23年、京都で亡くなりました。(享年68歳)。



日本自由画壇の同人らと(大正14年)。前列右端が春輝、中央が最年長、池田桂仙、中列右から二人目が上田萬秋。

美術講座「玉舎 春輝と京都画壇」(予定)

本講座では飛騨出身の日本画家、玉舎春輝の画業について、京都画壇や中国の歴史画などの視点から理解を深めます。

講師：青山 訓子 氏(岐阜県美術館学芸課長)

期 日：11月23日(日)午後2時～

場 所：飛騨市美術館多目的室

※参加申し込み不要(展覧会は要入館料)

日本画 ワークショップ

「えぎぬ」を使って日本画を描こう！

絹織物「えぎぬ」を木枠に張り、顔料を使って色を塗ります。

「えぎぬ」の素材が生み出す日本画の表現を味わいましょう。

講師：宇城 翔子 氏(日本画家、日本美術院院友)

期 日：11月9日(日) 午後1時30分～ (要申込)

場 所：古川郷土芸会館 工房

参加費：1,000円

定 員：15名

飛騨市美術館

〒509-4221 岐阜県飛騨市古川町若宮2-1-58

TEL 0577-73-3288 FAX 0577-73-5003

〈アクセス〉

JRにて、高山本線「飛騨古川駅」下車、跨線橋を渡り徒歩5分。

・富山よりJR高山本線・特急で約1時間15分。

・名古屋よりJR高山本線・特急で約3時間。

・お車にてお越しの場合は、市営飛騨古川駅東駐車場をご利用ください。

・東海北陸自動車道、清見ICより卯の花街道を通り約30分。

「…帝展の西洋カブレがして居るのは我々の黙すべからず処です」

(日本自由画壇創立時、最年長の同人、池田桂仙が語ったとされる言葉) 『日出新聞』大正8年11月7日



男軍 おいくさ (大正10年)



舟橋 (昭和7年)



魚火 (制作年不明)

